

基準地番号	提出先	所属分科会名	業者名	株式会社都市コンサルティング
目黒(都)-4	東京都	区部第6	氏名	不動産鑑定士 笠井 真由美

鑑定評価額	133,000,000 円	1 m ² 当たりの価格	1,010,000 円/m ²
-------	---------------	-------------------------	----------------------------

1 基本的事項

(1)価格時点	令和 6年 7月 1日	(4)鑑定評価日	令和 6年 7月 1日	(6)路線価	[令和 6年 1月]	760,000 円/m ²
(2)実地調査日	令和 6年 6月 15日	(5)価格の種類	正常価格		路線価又は倍率 倍率種別	倍
(3)鑑定評価の条件	更地としての鑑定評価					

2 鑑定評価額の決定の理由の要旨

(1) 基準地	所在及び地番並びに 「住居表示」等		目黒区碑文谷六丁目1 2 5 番 8 「碑文谷 6 - 8 - 1 2」				地積 (㎡)	132 ()	法令上の規制等							
	形状	敷地の利用の現況		周辺の土地の利用 の状況		接面道路の状況	供給 処理施設 状況	主要な交通施設との 接近の状況		1 低専 (60, 150) 準防 高度(1種)						
	1:1.5	住宅 W2		中規模一般住宅が多い 既成住宅地域		西5.2m区道	水道、 ガス、 下水	学芸大学 500m		(その他) (70, 150)						
(2) 近隣 地域	範囲	東 50 m、西 0 m、南 30 m、北 65 m						標準的使用		低層住宅地						
	標準的画地の形状等		間口 約 10 m、奥行 約 14 m、規模		140 ㎡程度、形状 長方形											
	地域的特性	特記 事項	特記すべき事項はない。			街 路	基準方位：北 5 . 2 m区道	交通 施設	学芸大学駅 南西方500m		法令 規制	1 低専 (70, 150) 準防 高度(1種)				
	地域要因の 将来予測	中規模一般住宅が多い閑静な住宅地域であり、地域内には特段の変動要因はないため、当分は現状を維持するものと予測する。														
(3)	最有効使用の判定		低層住宅地					(4)対象基準地の 個別的要 因	方位		+2.0					
(5)鑑定評価の手法 の適用	取引事例比較法		比準価格			1,070,000 円/㎡										
	収益還元法		収益価格			586,000 円/㎡										
	原価法		積算価格			/ 円/㎡										
	開発法		開発法による価格			/ 円/㎡										
(6)市場の特性		同一需給圏は目黒区内の東急東横線沿線に存する、一般戸建住宅を中心とする住宅地域である。当該地域は中規模戸建住宅を中心とする、居住環境や利便性が良好な住宅地域で、碑文谷公園にも近く、従来から需要は底堅い。需要者の中心は自己使用を目的とする比較的富裕な一般エンドユーザーで、堅調な需要から地価は上昇基調を維持している。画地規模により土地価格は異なるが、土地の中心価格帯は1億円～1.5億円程度である。														
(7)試算価格の調整・ 検証及び鑑定 評価額の決定の 理由		当該地域は居住の快適性を重視する低層住宅地域で、賃貸需要も見込まれるものの法令上の制限から高度利用ができないため収益価格は低位に試算された。当該地域の典型的な需要者は自己使用を前提とする比較的富裕な個人で、取引価格を価格判定の基礎として行動を行う。よって、鑑定評価額の決定に当たっては、典型的な需要者の行動を反映した比準価格を重視し、収益価格を参酌して、さらに指定基準地等との検討も行って鑑定評価額を上記のとおり決定した。														
(8) 公 示 価 格 と した	代表標準地		標準地		時点 修正	標準化 補正	地域要 因の比 較	個別的要 因の比 較	対象基準地 の標準価格 (円/㎡)	内 訳	標準化 補正	街路 交通 環境 画地 行政 その他	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	地域 要因	街路 交通 環境 行政 その他	0.0 -3.0 +2.0 -3.0 0.0 0.0
	標準地番号 目黒-1		公示価格 907,000 円/㎡		[104.8] 100	100 [100.0]	100 [96.0]	[102.0] 100	1,010,000		標準化 補正	街路 交通 環境 画地 行政 その他	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0		地域 要因	街路 交通 環境 行政 その他
(9) 指 定 基 準 地 の 検 討	指定基準地番号		時点 修正		標準化 補正	地域要 因の比 較	個別的要 因の比 較	対象基準地 の標準価格 (円/㎡)	内 訳	標準化 補正	街路 交通 環境 画地 行政 その他	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	地域 要因	街路 交通 環境 行政 その他	0.0 +3.0 +16.0 -3.0 +17.0 0.0	
	前年指定基準地の価格 1,200,000 円/㎡		[111.7] 100		100 [100.0]	100 [135.6]	[102.0] 100	1,010,000		標準化 補正	街路 交通 環境 画地 行政 その他	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0		地域 要因	街路 交通 環境 行政 その他	0.0 +3.0 +16.0 -3.0 +17.0 0.0
(10) 対 象 基 準 地 の 前 年 標 準 価 格 等 か ら の 検 討	-1 対象基準地の検討		継続		新規	前年標準価格 910,000 円/㎡		[一般的 要 因]		経済活動の回復に伴い目黒区の人口はコロナ禍前に戻りつつあり、物価の上昇等を背景に不透明感もあるが、地価は上昇基調を維持。						
	-2 基準地が共通地点（代表標準地等と 同一地点）である場合の検討		代表標準地		標準地	標準地番号 公示価格 円/㎡		[地 域 要 因]		利便性も高く、良好な住環境が維持された閑静な住宅地域である。低層住宅地に対する需要は底堅く、堅調に推移している。						
	変動率		年間	+11.0 %	半年間	%	[個別的 要 因]		個別的要因に変動はない。							